

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイル		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は、迅速かつ柔軟な対応を心がけ、子どもの願いに寄り添います。SNSを通じて活動の様子を共有し、事業所の体制についても丁寧に説明。常に速やかな連絡を徹底していることが事業所の強みです。	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡窓口を統合していること ・保護者とのやりとりをスタッフ全員で共有していること ・電話や連絡帳以外にSNSを使うなど連絡手段が複数あること 	家庭だけでなく、保育園や幼稚園とも子ども達との支援について情報を共有できるようにしていきたい。
2	当事業所のスタッフは、穏やかな姿勢で子ども達に寄り添い、安心して通える環境を提供します。また、一人ひとりの特性を考慮した丁寧な支援を行っていることが事業所の強みです。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで児童の様子をスタッフ全員で共有していること ・それぞれの児童の課題や支援について情報共有を心がけていること ・イレギュラーに対応できるように余裕のあるスケジュールングをしていること 	引き続き子ども達の情報をスタッフ間で共有できる体制を整えていきたい。
3	当事業所は、子ども達が利用を楽しみにしており、安心して過ごせる場として定着しています。継続して利用してもらえることで、長期的な支援が可能となり、一人ひとりの成長や発達にしっかりと寄り添った支援をできることが事業所の強みです。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の主体性を尊重できるように支援をしていること ・失敗や困難さについて寛容であること ・他者との比較をしないこと ・子ども達の主張に耳を傾けること 	引き続き子ども達の様子をよく観察し、好奇心を刺激するような活動や声掛けを心がけていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所は、子ども達が通っている保育園や幼稚園との交流や連携が課題の1つです。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所側の人員・時間的余裕の不足 ・保育園・幼稚園側との連絡調整の手順が確立されていない ・互いの活動時間帯が合わない ・情報共有のためのツールや仕組みが整備されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 連携体制の構築 効率的な情報共有の仕組み作り 時間の効率化
2	当事業所は、家族支援プログラムや家族等が参加できる研修機会を提供できていないことが課題の1つです。	<ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営のための人材不足 ・適切なプログラム内容の検討不足 ・ニーズの把握が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム内容の充実 ・運営体制の整備 ・参加しやすい環境づくり
3	当事業所は、父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による、保護者同士の交流の機会が設けられていないことなどが課題の1つです。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の時間的制約（仕事との両立等） ・交流会等の企画・運営の負担 ・適切な開催場所・時間の設定が困難 ・スタッフの人員不足 ・保護者のニーズ把握が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催形態の工夫 ・運営負担の軽減 ・ニーズに応じた企画 ・参加促進の工夫

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイル

公表日 令和6年11月15日

利用児童数 4

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4						
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4						
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4						
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1				3	事業所外で、でしょうか？日が浅いので分かりません。	他事業所との合同イベントにより、普段関わりの少ない地域の子供達と活動する機会を作ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3				1		アンケートなどを通してニーズの把握をするところから取り組みます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					子供の様子をよくみてくれている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2				2	説明がありました。	保護者同士の交流の機会はまだ十分に設けられていないので、今後の課題です。まずはアンケート調査などによりどのようなニーズがあるかを調べます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				返信が速く、とてもありがたい。連絡帳やLINEですぐに相談できている。子どものお願ひも対応してくれている様子。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				とても分かりやすい。子どもも理解している様子。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4				グループやSNSで活動内容を事前に知ることができたので安心でした。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1		毎月1回以上の避難訓練、災害対応訓練を行っています。訓練の様子はHPで確認することができます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				説明がありましたし、連絡がいつも早いので安心です。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				先生達がみなおだやかでとても良い。とても安心してしている様子。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				兄弟でとても楽しく通わせて頂いている。とても楽しみにしています。スマイルさんある？と毎日かれます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	スマイル
------	------

公表日 令和6年11月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		評価シートを使用した目標設定と振り返りをしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝礼時に職員の意見を述べる機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			支援開始前には必ず職員間で当日の支援についての話し合いが行われる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4		関係機関との連携を強化していく。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		関係機関との連携を強化していく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					第三者評価による振り返りを行う。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4			地域交流を強化する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3			アンケートなどを通してニーズの把握をするところから取り組む。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		SNSを利用し、いつでも悩みや相談を聞ける体制を整えている。必要に応じて、面談や助言など支援を行っている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5			アンケートなどを通してニーズの把握をするところから取り組む。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5			地域住民を招集するなどのイベントを企画できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			事業所内だけでなく、法人内のヒヤリハットや事故報告が共有され、安全な事業所運営をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5					